

建交労大阪府本部情報

大阪市北区錦町2-2 国労大阪会館 電話4800-7115 FAX 4800-8136 2018年5月28日 NO43

働く者の団結で生活と権利を守り、暴走政治ストップ、平和と民主主義・中立の日本をめざそう

第89回大阪地方メーデー万歳



第89回大阪地方メーデーが五月晴れのもと5月1日、府下15地域で開催され、1万人が結集しました。扇町公園で開催されたメーデーには4500人が参加。「働く者の団結で生活と権利を守り、暴走政治ストップ、平和と民主主義 中立の日本をめざそう」をスローガンに、集会ともに市内を2コースにわかれてデモ行進して、労働者や府民に訴えました。

大阪メーデーでは、実行委員会を代表して川辺委員長（大阪労連議長）が「安倍政権による国政の私物化、民主主義破壊の暴挙は断じて許すことはできない。安倍政権退陣の世論と運動は大きくひろがっている。野党と市民の共同を強め、安倍内閣を打倒し、労働者・国民の生活と権利、平和・民主主義を擁護し、憲法改悪を阻止しよう」と訴えました。メーデーでは、各分野からの決意表明が行われ、労働分野を代表して建交労大阪府本部の荻田書記長が決意を表明しました。

なお、大阪メーデー（府下15会場）には、大阪府本部全体で93名が参加しました。

大阪府本部が仲間づくりの宣伝を実施：JR高槻駅前・14人が参加



大阪府本部は5月12日（土）JR高槻駅前で組織拡大宣伝行動を行い、全体で14名が参加しました。

宣伝行動は、宣伝カーでの訴えとティッシュ付チラシ700枚を配布しました。

宣伝カーから訴えでは、荻田書記長が「憲法28条は勤労者の団結権、団体交渉権など労働基本権が保障されており、これを行使しないことはもったいない。労働者は労働組合に団結して権利を行使することが必要である」と訴え、松澤書記次長が「労働基準法第1条は、労働条件は人たるに値する生活を充たすべきものでなければならない。人間らしい生活と労働条件を確保するために労働者が労働組合に加入し、団結することが求められている」と訴えました。

安倍政権の9条改憲は許さない！

5 / 3 大阪総がかり集会に2万人が結集

憲法記念日の5月3日、「安倍9条改憲は許さない5 / 3 おおさか総がかり集会」が扇町公園で開催され、府民2万人が参加し、市内3コースにわかれてデモ行進しました。

集会では、主催者あいさつの後、野党（立憲民主党、日本共産党、社民党、自由党）の代表が挨拶され、それぞれの立場から安倍政権がすすめようとしている憲法9条改悪を許さないとの決意が表明されました。また、全国市民アクションの香山リカさん（市民アクション発起人）が連帯あいさつを行いました。その後「安倍政権のもと政治の私物化や数々の疑惑 不正が明らかになり、国民の信頼を失っており、この政権に改憲を提起する資格はない、安倍政権は即時、退陣すべきである」との集会宣言が採択され、「憲法こわすな」「戦争アカン」のプラカードを参加者が一斉に掲げ、訴えました。集会には、建交労大阪府本部から久米委員長、荻田書記長など47人が参加しました。



なくそうブラック企業・自治体

大阪争議組合支援行動・150人が参加

大阪労連と大阪春闘共闘委員会は5月24日「なくそうブラック企業」「なくそう自治体」、大阪からすべての争議をなくそうをスローガンに争議組合支援行動を展開し、150人が参加しました。



大阪地裁前のスタート集会で川辺大阪労連議長は「争議支援行動へのエントリーする組合は少なくなってきたが、ブラック企業や自治体によって労使紛争は増えてきている。職場や地域での団結を強化し、一日も早い争議解決とともに争議を起こさせないことが重要である。また、憲法を踏みこむ『働き方改革』を強行しようとしている安倍自公政権の暴走を許さず、悪法一掃、社会を変える闘いに総決起しよう」とあいさつしました。

支援行動では、不当解雇や差別、不当労働行為などを行っている企業 団体への抗議・要請行動を行い、府本部からは、久米委員長、荻田書記長をはじめ大阪合同支部、関西合同支部、関西ダンプ支部から9名が参加しました。

歴史に学び・歴史をつくる第16回役員セミナー

生活のゆとりと労働組合

大阪労連と関西勤労協の共催による第16回役員セミナーが4月28日～29日、神戸のホテル・フルーツフラワーで開催され、府下の労組から95名が参加。大阪府本部からは山本執行委員が参加しました。

今回は「生活のゆとりと労働組合」をテーマに長久啓太さん（岡山県学習協事務局長）が講演されました。長友さんは「日本人は働きすぎて、それが当たり前になっている」「人間らしく生きるためには”ゆとり”ある生活、自分の時間を大切にしないといけない。そのためには、自分の大切な時間をつかって、自分の大切なものを勝ち取らないといけない」「フランスでは1年以内に1週間の旅行ができないと『貧困層』に値する」など刺激的な話をされました。

講義を受けて5つの分散会に分かれ、「ゆとりある時間には、ゆとりあるお金も必要である」「人手不足で長時間労働になっており、ゆとりはほど遠い」など活発な討論が行われ、夕食交流では、各産別での話題で盛り上がり、二次会の懇親会では夜遅くまで交流することができました。

役員セミナーに参加した山本執行委員は「人間らしく生き・働くためには、資本の横暴を許さず、労働組合運動の原点を堅持した闘いが求められていることを実感した。学習会で学んだことを職場や地域で活かして行きたい」との抱負を語っていました。

